

1. 事業の実施状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

データは、平成30年3月31日現在の数字です。

<p>介護事業全体</p> <p>○地域において必要とされる福祉サービスの維持向上に向け、地域包括ケアシステムの一部を担う取り組みとして、「高齢者いきいき相談室」を継続、また、増加する認知症高齢者支援として「認知症カフェ」を4月より開設し毎月1回運営することができました。9月からは、中学生学習支援事業として特別養護老人ホーム極楽苑のリハビリ室を週1回、夜間地域に開放しています。地域において必要とされる事業所として、相談窓口や交流の場を提供し、社会福祉法人の原点である地域貢献を行うことができました。</p> <p>○超人材難時代を乗り切る採用戦略として、新卒採用については、施設説明会の内容の見直しやHPの改良・採用ナビの積極活用等を実施。中途採用については、使用する媒体を選定して活動を進めてきましたが、退職者の補充には至らず厳しい状況が続きました。研修については、総務部に専任担当を設け年間計画に沿って実施してきましたが、下半期には勤務調整が難航し実施できない研修もありました。</p> <p>○食材の高騰が進む中、食材の選定や発注量の調整により、食材費削減に努めました。一方、食事の質を保ちつつ、色彩や食器・盛付の工夫も行い、見た目にもおいしい食事の提供を行う事ができました。</p> <p>○世代間交流は、継続して実施することができました。極楽苑、高齢者住宅西山は隣接の同法人保育園との交流が可能ですが、香流川は離れている為、今まで保育園との交流がありませんでした。今年度は初の試みとして、保育園バスを運行してもらい、4月・9月の2回、交流の機会を設けることができました。</p>			
<p>特別養護老人ホーム 極楽苑</p> <p>平均要介護度:3.55↓ 性別の割合:25人(男)↓ 93人(女)↓</p> <p>○信頼と安心の構築 入居者の現状についてカンファレンス等を開催し、情報提供を意識して行うことができました。人員体制が厳しい中、サービスの質向上に向けた研修を実施いたしました。</p> <p>○医療機関との連携強化 入居前に詳しい入居者情報を収集できるようにしました。定期的に入院先の病院を訪問し、適切な入院期間となるよう調整しました。</p> <p>○看取りケア体制の強化 今年度は、1名の看取りケアを行いました。これまでの課題や反省点を踏まえて、マニュアル等の整備を行いました。回数を重ね、介護スタッフも柔軟に対応できるようになり、看取りケアの必要性について研修を通じて更に知識や意識を高められるよう努力いたしました。</p> <p>○レクリエーションの充実 入居者の希望を叶える個別外出支援や、季節のフルーツを召し上がっていただく厨房職員出張レクリエーション等、今までにない試みを実施しました。極楽保育園の園児との定期交流や毎週土曜日に行われるカラオケ喫茶も好評となっています。</p>	<p>極楽苑ショートステイ</p> <p>日平均:8.7人↓ 平均要介護度:2.81↑ 緊急避難:55日(2人)↑</p> <p>○個別機能訓練・レクリエーションの充実 保育園児との定期交流・いきいき美容室・夏祭りなど行うことができました。日々のレクリエーションは、手品・紙芝居・シルバー川柳など、工夫を凝らした内容を毎日行うことができました。</p> <p>○柔軟な受入れの確立、安全な送迎サービスの充実 特養の空床活用を積極的に行いました。送迎サービスでは定時以外の送迎にも可能な限り対応しました。</p> <p>○職員教育の強化 家族への入退苑時の報告・情報収集を正確に行えるよう意識して対応しました。手紙での報告に加え、電話でも様子を詳しく伝え、安心していただけるよう対応しました。研修等で介護技術・知識の向上に努め、専門職としての技術・知識の習得を目指しました。</p>	<p>極楽苑 居宅介護支援事業所</p> <p>予防給付数:240件↓ 介護給付数:1150件↓ (延べ)</p> <p>○「高齢者いきいき相談室」継続 介護フェアや民生委員との交流会など、地域行事にも参加しました。いきいき支援センターとの連携も図りながら継続することができました。</p> <p>○情報共有・連携の強化 担当ケアマネジャーが不在時にも迅速な対応を行うことができるようにし、多くの情報を知ることで様々な視点から意見を交換できる機会にもなり、ケアマネジャー自身の質向上にも繋がりました。</p> <p>○自立支援に向けたケアマネジメント プランの必要性を見極め、『自立支援に繋がる支援』を居宅サービス計画書に加えしました。</p>	<p>高齢者住宅 西山</p> <p>稼働率(60床):38%↓</p> <p>○レクリエーション・行事の充実 季節の行事や西山保育園の園児との交流会を行いました。人員配置の関係で回数は限られましたが、ボランティアも活用しながら、定期的にレクリエーションを実施することができました。</p> <p>○ニーズに合わせた食の充実 献立には工夫を凝らし、できる限り入居者の嗜好に合ったメニュー作りに取り組みました。定期的に提供している手作りおやつも好評でした。対象者はいませんでしたが、副菜のソフト食も提供可能となり重度入居者への対応準備を進めることができました。</p>
<p>地域密着型特別養護老人ホーム 香流川</p> <p>平均要介護度:3.93↑ 性別の割合:5人(男)10人(女)↓</p> <p>○職員体制の整備 昨年度末から徐々に職員数が減り、「入居者の生活リズムに合わせたケア」を提供しづらい状況が続きました。現在の職員数でできる範囲の個別ケアを実施しました。</p> <p>○介護技術の質向上 入居者の事例を参考にした研修会を開催したり、ケアの質の向上に努めました。看取りケアにつなげるための計画は、人員体制が整い次第行えるよう、継続して取り組みます。</p> <p>○レクリエーションの充実 年間予定表の通り、行事を実施することができませんでしたが、人員不足の中でもできる限り外出やレクリエーションを行いました。喫茶レクでは地域の喫茶店を利用し、交流を深めました。地域のボランティア等を活用しながら、今後も継続して余暇の充実を図ります。</p>	<p>デイサービスセンター 極楽苑</p> <p>日平均:22人↓ 平均要介護度:2.17→</p> <p>○認知症ケアの質向上 利用者別の課題を検討する会議を毎月開催しました。認知症症状ある利用者の対応では、専用用紙を用いて情報共有を図りました。</p> <p>○機能訓練の質向上 利用者の身体状況を見極め、その時必要なリハビリメニューが提供できるよう柔軟な対応を行いました。個別リハビリは、提供方法や場所など長期的な視野での検討を行います。</p>	<p>グループホーム 香流川</p> <p>平均要介護度:3.38↑</p> <p>○看取りケア体制の整備 今年度の看取りケアの事例はありませんでした。今後、癌などの疾患や食欲低下などで終末期を迎えられる方が増えることを想定し、対応できるよう研修等を実施していきます。</p> <p>○レクリエーション・外出行事の充実 春と秋の外出は、博物館や寺院など、入居者の希望に沿って実施する事ができました。園芸・体操・料理・創作を年間計画しており、園芸では、屋上で花や野菜を植え、収穫して料理レクで活用する事もありました。朗読やトーンチャイムなどのボランティアも活用し、外部との交流も少しずつ増やすことができました。</p>	<p>定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション 西山</p> <p>平均要介護度:2.63↑</p> <p>○サービスの標準化 現状に合った適切な訪問を行えるよう、介護の内容や時間を検討しケアマネジャーに報告しました。サービス提供困難なケースを除き、医療機関とも密に連携し、病状に合わせた関わりができました。</p> <p>○サービスの質向上 利用者本人や家族の意向を確認し、できる限り手厚い訪問を行いました。終末期の対応や看取りケアの際には、主治医と家族・ケアマネジャーと協働しながら適切に対応することができました。</p>
	<p>極楽苑 訪問介護事業所</p> <p>○モニタリングの強化 利用者宅への訪問や電話によるモニタリングを行い現況把握に努めました。また、適宜ケアマネジャー他、関連事業所への報告・連絡・相談を行うことで、利用者のニーズに対し迅速に対応することができました。</p> <p>○情報共有と連携強化 毎月のスタッフミーティング及び、連絡を密に取り合うことで、職員間の情報共有ができたため、協力体制作りや意識強化が進みました。</p>	<p>小規模多機能ホーム 香流川</p> <p>平均要介護度:2.38↓</p> <p>○サービスの特性の強化 一年間を通し、利用者の状況に応じて柔軟に対応することができました。当日のサービス変更(通いから訪問など)や急な泊りの依頼にも職員が協力して業務調整を行い、利用者や家族の要望に応えることができました。希望に沿うことができない場合も理解を得ることができ、困難事例となってきている方に対しても継続した支援を行うことができました。</p> <p>○適切なケアマネジメント 利用者がどのような生活を望んでいるか、定期的に聴き取りを実施し、個別ニーズを把握することができました。ケアプランには、各スタッフの意見も反映できるよう努力しました。</p> <p>○個別レクリエーションの充実 利用者のやりたいことを聴き取り、創作レクや運動等をする際に個別ニーズとして取り入れられました。行事については、昨年度よりも利用者が自発的に参加できるよう工夫しました。</p>	